

策定年月	令和7年6月
見直し年月	令和 年 月

麦・大豆国産化プラン

産地名：芳賀町

(作成主体：芳賀町農業再生協議会)

1. 麦・大豆生産の現状と課題及び課題解決に向けた取組方針

芳賀町農業再生協議会の現状と課題及び課題解決に向けた取組方針

【事業対象作物】

麦・大豆

【現状】

- ・小麦(さとのそら、タマイズミ)は令和7年産から新規取組予定(■■■■氏)である。
- ・令和6年産小麦(さとのそら、タマイズミ)の地域単収は346kg/10aとなっている。
- ・大豆(里のほほえみ)の作付面積は令和6年産で5.9ha(■■■■氏)である。
- ・令和6年産大豆(里のほほえみ)の地域単収は134kg/10aとなっている。

【課題】

- ・小麦・大豆の需要に対して供給量が不足している。
- ・点在するほ場での作業が非効率的であり、各作業に時間がかかる。
- ・生産量、品質向上のため、排水対策等、栽培方法の見直しを図る必要がある。
- ・天候の影響もあり適期に播種や病害虫防除、収穫を完了することが困難である。

【課題解決に向けた取組方針】

①取組面積の拡大及び農地の集約化

- ・地域の農業者と話し合いを行い、団地化を推進しながら取組面積を拡大する。

②新たな営農技術の導入

- ・深耕の導入によりほ場の排水性を向上させる。
- ・小明渠浅耕播種の導入により播種の効率化と苗立ちの安定化を図る。
- ・ドローンを活用した生育中後期の追肥の導入により、収量の高位安定化を図る。
- ・ブームスプレーヤー、ドローンによる農薬散布の導入により、適期の病害虫防除を行い収量・品質を向上させる。
- ・レベラーによる農地の均平化の導入により、湿害を回避し苗立ちの安定化を図る。

③大型機械導入による効率的作業の実施

- ・高性能トラクター、ブームスプレーヤー、ドローン、大型ブロードキャスターやシードドリル等の導入により作業効率を向上させる。

※ 麦・大豆生産における課題(湿害対策、適期播種、土づくり、連作障害対策等の必要性等)を具体的に記載すること。

※ 課題解決に向けて取り組む内容及び今後の生産拡大に向けた方針を具体的に記載すること。

2. 産地と実需者との連携方針

1. 連携方針

集荷事業者であるJAIはが野、全農とちぎと連携し、実需者の需要を的確に把握し、需要に応じた生産を実施する。

2. 国産麦生産量の現状と目標値

【産地】芳賀町 中心となる農業者: [REDACTED] [REDACTED]

・R5年産の県産大豆の需要見込みは [REDACTED]t、これに対しR6年産申込数量は [REDACTED]tとなっており、供給不足が見込まれる

・また、R8年産の県産小麦の需要に対して、さとのそらでは [REDACTED]t、タマイズミでは [REDACTED]tの供給不足が見込まれている。

・JAIはが野管内の農業者の高齢化による離農等が見込まれ、今後さらに作付面積が減少することが見込まれる。

→今後の供給量確保に向け、小麦は、現状0ha(令和6年産)から目標5ha(令和10年産)へ作付面積拡大([REDACTED]氏)、大豆は、現状5.9ha(令和6年産)から目標7.0ha(令和9年産)へ作付面積拡大([REDACTED]氏)を行う。

芳賀町における小麦、大豆の取扱に係る現状と目標値

品目	品種名	現状 (R6年産)	目標 (R10年産)	現状の供給先
小麦	さとのそら タマイズミ	26.4t	45t	[REDACTED]
大豆	里のほほえみ	23.4t	37.5t	[REDACTED]

3. 目標達成に向けた具体的な方策

農地中間管理機構等の活用により耕作地の拡大、集約を図る。

また、現在点在しているほ場について生産性を高めるため地域の農業者と話し合いを実施し、団地化を推進する。

実需者との意見交換等を通じて、需要の的確な把握に努める。

※ 産地と実需者については具体的な名称を記載すること。

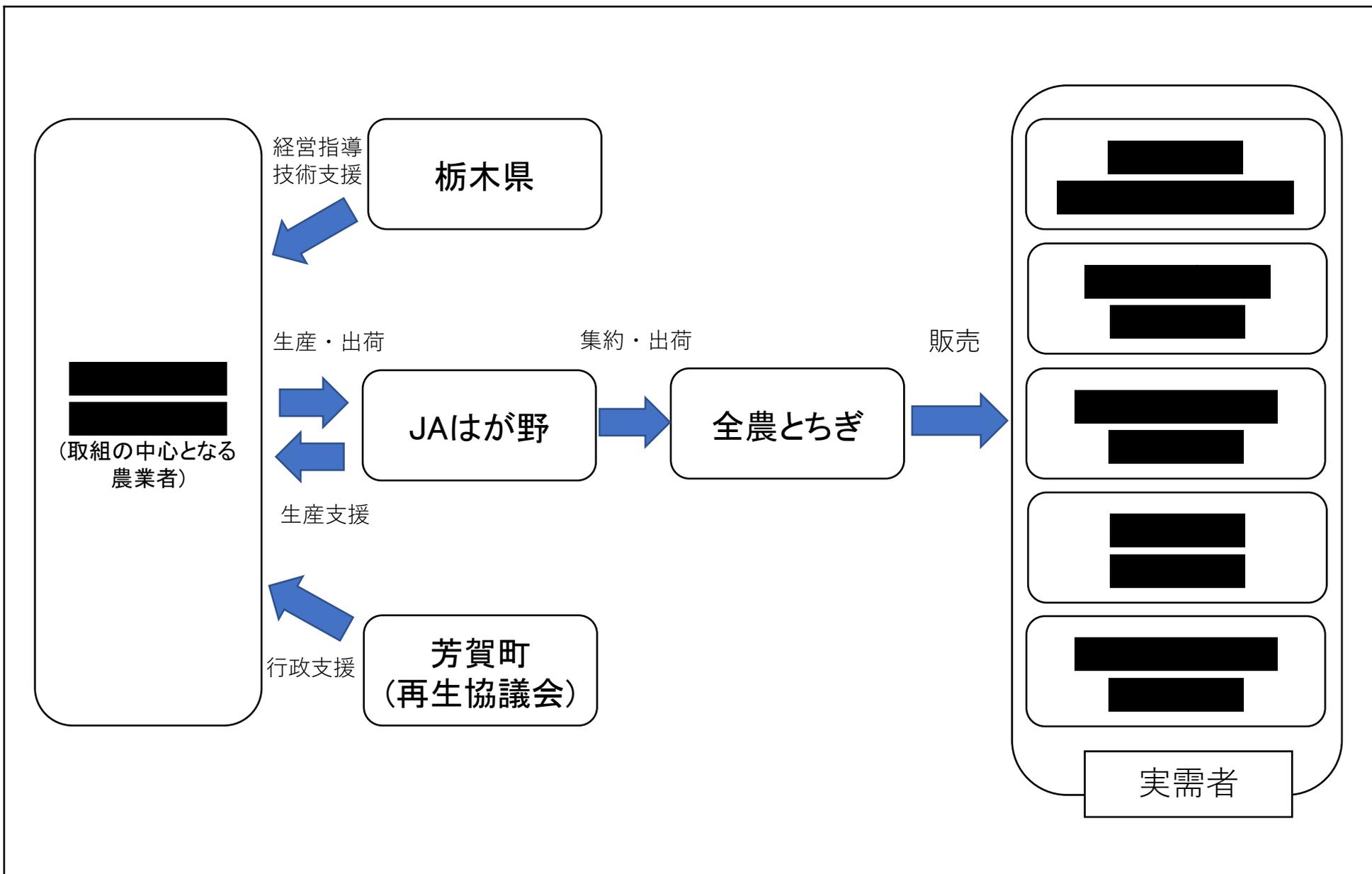
※ 麦の実需者は、麦を原料とした加工品等の製造を業とする者(製粉会社、製パン会社、製麺会社等)とする。

※ 大豆の実需者は、大豆を原料とした加工品等の製造を業とする者、大豆の販売を業とする者及びこれらの者が組織する法人その他の団体とする。

なお、販売を業とする者を実需者とする場合は、その者が販売する先(最終実需者)について、代表的な者の名称を記載すること。

※ 産地と実需者それぞれの国産麦・大豆取扱量の現状とおおむねの目標値を記載すること。

3. 麦・大豆の国産化に向けた推進体制及び各関係者の役割



※ 産地と実需者との連携について、図等を用いて明示すること。

※ 取組の中心となる農業者等を必ず位置付けること。